

平成22年度 大山町一般会計予算 質疑 討論

問



【鹿島議員】
愛育委員会のような活動は、中山、名和でも行われている。公平公正な補助金の出し方との認識か。10万円の根拠は。

答

【森田町長】
今の活動状況の中で、着実に活動している組織を育成し、さらに地域の健康づくり、保健活動を支えていかなければならないと予算付けを行った。名和、中山は委員があるが、組織として構築されていない。今後、組織化を進めていく中で、取り組みが進むことになれば、補正予算でも対応したい。同じ思いである。

問



【小原議員】
予算書に数多く出てくる「子ども手当」の項目内容は。

答

【田中総務課長】
公務員は、町が直接手当として支払うため。

問



原案に対する反対討論

【大森議員】
町道中山インター線、町道退休寺線は不要不急と思われる。これに多額の予算が組まれており問題と感じる。また、同和問題は、長年の同和対策事業により、解決に向かって大きく前進してきた。同和関連予算は、総額がおよそ1億円で、特別な同和対策が残っている。特別施策を継続することは、「部落」を固定化することになる。これでは真の同和問題解決にはならず、むしろ解決を遠ざけてしまう。特別な同和対策は終了して、一般対策へ移行することが真の解決につながると思われる。

問



原案に対する賛成討論

【西山議員】
本議案には372の事業が計上されている。地域自治の取り組み、子どもの未来を考え、人権を尊重した施策、男女両性社会をめざす取り組み、高齢者の幸福追求を共に考え自立支援する福祉事業、障害者の自立と社会参加の支援、教育就学助成、環境衛生対策、公共交通対策、外国人の助成等の創意工夫を評価し賛成する。

問



【米本議員】
地域活性化支援事業交付金で、①集落に軸足を置いたまちづくりとは。②この交付金の目的は。③自立できない集落への対策、交付金の活用は。

答

【森田町長】
①自分たちの村をどう考え、守り、つくるか。もう一度自分たちの足元を認識し、進めるまちづくり。
②その取り組みへの交付金。
③役場から出向くことやモデルの必要性を感じている。
【野間企画情報課長】
役場主導ではなく、声かけと集落の判断を待って対応する。話し合いを経た計画書の提出を義務づけている。

問



【池田議員】
漁港建設費で、①主任給料4か月分
②燃料費
③自動車リース料
の内容は。
④6月に昨年の工事が発注され、繰越になった。今年は早めに出すか。

答

【池本農林水産課長】
①担当者の給料。
②御崎、御米屋に29万円計上。補助事業の事務費を活用。
③御崎は港整備交付金事業、御米屋は漁村再生交付金事業を活用。
④国からの交付決定を受けて発注する。早い時期に発注したい。

問



【岡田議員】
①家畜排泄物対策事業補助金の内容は。
②新農業水利システム保全対策工事としてしっかり守る農林基盤交付金事業の違いは。
③名和土地改良区補助金と、名和町土地改良区補助金の内容は。

答

【池本農林水産課長】
①県1/3、町1/3、地元（香取）1/3の補助率。内容は検討会、研修会、水分調整の実証試験等。
②前者は農業用排水路の補修改修。後者は主に暗きょ排水工事。
③名和の改良区は、合併している。名和土地改良区は、農業水田・畑等。名和町土地改良区は、畑かん・山麓関係の改良区。

問



【吉原議員】
ふるさと納税のあり方は。また、ファンクラブの事業内容と工夫ある取り組みは。

答

【田中総務課長】
ふるさと納税は特典を含め検討中。
【野間企画情報課長】
ファンクラブは会員拡大のため、人と人とのふれあいを大切にしたい。

問



【杉谷議員】
保育所広域入所児童委託料と外国語活動委託料の内容は。さらなる充実はできないか。

答

【高木幼児教育課長】
町外の保育所への希望は15人程度。町外の子どもを受け入れる予定は8人。
【山根教育長】
中学校の（※）ALTの空き時間を利用して、保育園にも行ってもらう。利便性や効果を考慮し判断していく。